

旅行企画担当者様

全7枚

## 第56回 京の冬の旅 非公開文化財特別公開 について

公益社団法人京都市観光協会

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。今年度で56回目を迎える京都市・京都市観光協会主催の「京の冬の旅」非公開文化財特別公開の概要についてお知らせいたします。ツアー企画等にご利用いただけましたら幸いです。

★「第56回 京の冬の旅 非公開文化財特別公開」は、個人・団体ともインターネットからの「**予約優先制**（当日受付で空きがあれば拝観頂けます）」で公開予定  
当日は、予約頂いた受付開始時間までに受付へお越しください。時間を過ぎても入場可能ですが、お客様の来場状況により、入口でお待たせすることがありますのでご了承ください。  
以下からお申込みください。

予約サイトは旅行会社様向けに先行して**10/5（火）〈予定〉より公開**（11月下旬より個人客向けにも公開予定）

\*但し「醍醐寺五重塔」の予約については、予約1件あたりの人数を**5名様まで**に制限して11月下旬～の個人客向けと同時に予約受付を開始します

予約サイト URL : [https://select-type.com/rsv/?id=OKHmNVvvr10&c\\_id=163549](https://select-type.com/rsv/?id=OKHmNVvvr10&c_id=163549)



アクセスにはパスワードが必要です

拝観希望日・時間、人数や参加形態を選択 → ツアー名（団体名）、御社名（グループ名）、ご担当者様名、ご連絡先電話番号、メールアドレス 等をご入力ください。

※なるべく時間に余裕を持った行程を組まれますようお願いいたします。

※募集ツアーで不催行が決まった場合や、時間・人数変更については、**原則、予約日の21日前の17:00まで（西本願寺書院・醍醐寺五重塔をのぞく）**に、キャンセルや変更処理を行ってください（キャンセルについては決定次第なるべく早めのキャンセル処理をお願いします。）。また万が一、その後、時間・人数に変更があった場合は京都市観光協会（誘致事業課 075-213-0020）までご連絡ください。

○お問合せ先

公益社団法人京都市観光協会 誘致事業課

TEL : 075-213-0020（誘致事業課 直通 平日のみ） FAX : 075-213-1011

- ご拝観の際にはマスクの着用をお願いいたします。
- 体調不良もしくは37.5度以上の熱がある場合は、ご拝観をご遠慮くださいますようお願いいたします。
- 拝観前にアルコールにて手消毒をお願いいたします。
- 拝観に際しては係員の案内に従っていただきますようお願いいたします
- その他、感染症予防対策にご協力くださいますようお願いいたします。

靴を脱ぐ必要のある場所には靴棚を設置しておりますが、靴間違い防止のため「靴袋持参」をお勧めしております。※プラスチックゴミ削減のため靴袋配布は行いません

※いずれの公開箇所も、都合により拝観・見学できない日や時間帯が生じる場合があります。

※今後のコロナウイルス感染拡大状況の推移や社会情勢等によっては、拝観休止や内容・期間等一部変更とさせていただきますこと、予めご了承ください。

## 【京の冬の旅 非公開文化財特別公開】 ～秘められた京の美をたずねて～

2020年12月、ユネスコ無形文化遺産に「**伝統建築こうしやう工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術**」が登録されました。また2022年は**茶人・千利休せんりのきゆう生誕500年**、**茶人・織田有楽齋おだうらくさい没後400年**にあたります。

第56回「京の冬の旅」では、「**建築の美**」と「**茶人ゆかりの禅寺**」をテーマとし、通常非公開の文化財を期間限定で特別公開いたします。高度な技によって受け継がれてきた、文化財の宝庫・京都が誇る国宝・重要文化財級の「**建築の美**」と、利休や有楽齋、織部など茶人ゆかりの寺院を中心に、「**京の冬の旅**」**初公開の文化財**を含む**14ヶ所**での特別公開です。

### 「伝統建築工匠の技 木造建造物を受け継ぐための伝統技術」

木工さかんや左官かやぶ、瓦屋根や茅葺き屋根、建具たてぐや畳たたみの製作のほか、建物の外観や内装に施す装飾や彩色、漆塗りうるしなど宮大工みやだいくや左官職人らが古くから継承してきた17分野の技術の価値が世界的に認められたもの。京都に残る歴史的建造物は、各時代の職人技により守られてきたこと、その高度な技に光を当てる「京の冬の旅」です。

### ■公開期間 2022年1月8日（土）～3月18日（金）

- \* 建仁寺 正伝永源院：3月3日（木）は11：00～の公開
- \* 智積院：2月28日（月）までの公開。【1期】と【2期】で特別公開の内容が変わります。  
【1期】1月8日（土）～30日（日）／【2期】1月31日（月）～2月28日（月）
- \* 東福寺 三門：3月6日（日）までの公開
- \* 東福寺 法堂・東司：3月6日（日）までの公開
- \* 大徳寺 聚光院：1月27日（木）・28日（金）、2月2日（水）・27日（日）・28日（月）、3月9日（水）は拝観休止
- \* 大徳寺 大光院：1月17日（月）～の公開。2月15日（火）～18日（金）は拝観休止
- \* 醍醐寺 三宝院：1月14日（金）は拝観休止
- \* 僧侶がご案内する特別拝観 西本願寺 書院：1月25日（火）～3月14日（月）の期間中設定日（**設定日は別紙カレンダー参照**）
- \* 僧侶がご案内する特別拝観 醍醐寺 五重塔：1月29日（土）・30日（日）、2月27日（日）・28日（月）、3月12日（土）・13日（日）の計6日間の公開

その他法要や悪天候等、都合により拝観できない日や時間帯が生じる場合があります。最新情報は京都観光Naviホームページ「京の冬の旅」（11月下旬頃公開予定）で随時更新 <https://ja.kyoto.travel/>

### ■公開時間 10：00～16：30（16：00受付終了）

- \* 智積院は、9：00～16：30（16：00受付終了）
- \* 仁和寺 御殿・庭園は、1・2月 9：00～16：30（16：00受付終了）、3月 9：00～17：00（16：30受付終了）
- \* 東本願寺 御影堂門は、1・2月 10：00～16：00（15：30受付終了）、3月 10：00～16：30（16：00受付終了）
- \* 東寺 五重塔は、8：30～17：00（16：30受付終了）
- \* 醍醐寺 三宝院は、1・2月 9：00～16：30（16：00受付終了）、3月 9：00～17：00（16：30受付終了）
- \* 僧侶がご案内する特別拝観 西本願寺 書院は、10：00～／11：00～／13：30～／15：00～（1日4回）各所要約60分（定員40名程度）
- \* 僧侶がご案内する特別拝観 醍醐寺 五重塔は、10：00～15：00の間で30分おきのご案内（1日11回）各所要約30～40分（定員30～40名程度）

### ■料金 1ヶ所 大人（中学生以上）800円／小学生400円（15名以上の団体は1割引）

- \* 智積院は、大人（中学生以上）900円／小学生400円（通常公開部分を含む）で、15名以上の団体は1割引。
- \* 仁和寺 御殿・庭園：大人（大学生以上）1,000円／高校生以下 無料（通常公開部分を含む）で、15名以上の団体は大人のみ900円 ※但し霊宝館との共通券やその他割引との併用は不可
- \* 東寺 五重塔は、大人（大学生以上）800円／高校生700円／小中学生500円（通常公開部分を含む）で、30名以上の団体は1割引。

- \*醍醐寺 三寶院：大人（中学生以上）800円／小学生無料 団体割引なし 別途通常拝観料要（※1）
- \*僧侶がご案内する特別拝観 西本願寺 書院：小学生以上 1名当り2,500円 団体割引なし
- \*僧侶がご案内する特別拝観 醍醐寺 五重塔：小学生以上 1名当り1,500円 団体割引なし 別途通常拝観料要（※1）

（※1）醍醐寺 三寶院、醍醐寺 五重塔については別途、「三寶院庭園・伽藍エリア 2ヶ所」通常拝観料要（大人1,000円／中高生700円／小学生無料、団体20名以上大人800円／中高生600円、但し2月23日は行事のため通常拝観料なしで拝観可）

\*\*\*\*\*

○対象箇所と見どころ（14ヶ所） ※都合により、寺宝等展示物の内容が変更となる場合がございます。

けん にんじ しょう でん えい げん いん  
建仁寺 正伝永源院

～没後400年記念 大名茶人・織田有楽斎ゆかりの寺～

織田信長の弟で、没後400年を迎える大名茶人・織田有楽斎の菩提所。壁に古い曆を貼っていることから別名「曆張席」で知られる国宝の茶席「如庵」が復元されており、「有楽園」「有楽窓」など有楽斎好みの特徴を見ることができる。蓮の花と鷺や燕などの鳥を描いた狩野山楽筆の美しい金碧の襖絵「蓮鷺図」や、狩野洞雲（益信）筆「観音図・雲龍図・虎図」三幅対の軸など寺宝もみどころ。

※期間中展示替えあり ※3月3日（木）は11：00～の公開

★大型P：なし（川端通にて路上乗降） ★拝観所要時間：約30分（乗降場所から片道徒歩約5分）

ちしやくいん  
智積院 密厳堂・三部権現社・求聞持堂は京の冬の旅初公開

～桃山文化を伝える 華麗なる障壁画と庭園～

長谷川等伯筆の「楓図」やその息子・久蔵の「桜図」など、桃山文化を代表する豪華な障壁画（国宝）を伝える真言宗智山派の総本山。

【1期の特別公開】境内最古の建物・密厳堂や、三部権現社拝殿の天井画「龍図」、求聞持堂の本尊など境内最奥の秘められたエリアを公開。【2期の特別公開】貴賓館にあたる宸殿の、京都画壇の巨匠・堂本印象筆「婦女喫茶図」などの障壁画を公開。

※2月28日（月）までの公開【1期】1/8～30、【2期】1/31～2/28で特別公開の内容が変わります。

★大型P：智積院駐車場 ★拝観所要時間：約50分（駐車場から受付まで片道徒歩約2分）

とうふくじ はつどう とうす  
東福寺 法堂・東司

法堂は「京の冬の旅」初公開、東司は「京の冬の旅」15年ぶりの公開

～堂本印象の「蒼龍図」と重要文化財のトイレ！～

鎌倉時代に九條道家が創建した臨済宗東福寺派の大本山。昭和9年再建の法堂は、昭和期の木造建築としては最大級の建物で、京都画壇の巨匠・堂本印象がわずか17日間で描いたという天井画「蒼龍図」が残る。東司（重文）は、室町時代に建てられた、日本に現存する最古最大の禅宗寺院便所である。手巾や桶を持って用を足すのも修行の一つとされ、室町から明治時代に至るまで実際に使用されていたという。

※3月6日（日）までの公開

★大型P：なし（九条通で路上乗降） ★拝観所要時間：約35分（乗降場所から受付まで片道徒歩約10分）

とうふくじ さんもん  
東福寺 三門 京の冬の旅5年ぶりの公開

～国宝に登る！ 楼の上に広がる浄土の世界～

かつて「東福寺の伽藍面」と称されたほど壮大な伽藍を誇った禅刹・東福寺に、今も残る中世の貴重な禅宗建築の一つが三門（国宝）である。足利四代將軍義持よしもちによって再建された、禅宗三門としては日本最古で最大の門。高さ約22m、市内一望の楼上には宝冠釈迦如来像や十六羅漢像を安置し、画僧・明兆みんちょう（兆殿司ちやうでんす）らによる極彩色の飛龍や天女などが描かれた荘厳な空間が広がる。

※3月6日（日）までの公開

★大型P：なし（九条通で路上乗降） ★拝観所要時間：約30分（乗降場所から受付まで片道徒歩約10分）

だいとくじ じゆこういん  
大徳寺 聚光院

～生誕500年の茶聖と天才絵師 美の競演～

永禄9年（1566）、武将・三好長慶みよしながよしの菩提を弔うために創建。茶人・千利休と茶道三千家の菩提寺である。方丈（重文）は、桃山の画壇を風靡した絵師・狩野永徳と、その父松栄の「花鳥図」「瀟湘八景図」「琴棋書画図」など国宝の障壁画（複製）で飾られている。永徳の下絵を元に、利休が作庭したと伝わる「百積の庭」（名勝）や、茶室「閑隠席」（重文）と「桮床席」（重文）の二つの名席もみどころ。

※1月27日（木）・28日（金）、2月2日（水）・27日（日）・28日（月）、3月9日（水）は拝観休止

★大型P：大徳寺駐車場 ★拝観所要時間：約35分（駐車場から受付まで片道徒歩約5分）

だいとくじ だいこういん  
大徳寺 大光院 「京の冬の旅」初公開

～豊臣秀長の菩提寺に残る三武将ゆかりの茶席～

豊臣秀吉の弟・秀長の菩提寺として奈良・大和郡山に創建され、後に大徳寺山内に移された。客殿を飾る「雲龍画」の襖絵は、奥州・伊達家伝来の狩野探幽筆の屏風を襖に直したものと伝わる。また「蒲庵」は、黒田如水くろだじゆすい（官兵衛かんべえ）好みの茶室。現在の茶室は移築されたものだが、もともこの茶席についての露地に、如水の子・黒田長政くろだながまさと加藤清正かとうきよまさ、福島正則ふくしまさのりの三武将がそれぞれ一つずつ石を寄進したということから「三石の席」とも称される。

※1月17日（月）～の公開 2月15日（火）～18日（金）は拝観休止

★大型P：大徳寺駐車場または北大路通で路上乗降 ★拝観所要時間：約30分（駐車場から受付まで片道徒歩約10分）

こうしょうじ  
興聖寺 「京の冬の旅」40年ぶりの公開

～武将茶人・古田織部ゆかりの禅寺～

臨済宗興聖寺派の本山で、茶道織部流の祖でもある武将・古田織部ふるたおりべとの関わりから「織部寺」とも呼ばれる。江戸時代に建てられた本堂（仏殿）には天井に「雲龍図」が描かれ、本尊・釈迦如来像や武将・藤堂高虎とうどうたかとらの寄進と伝わる達磨像が安置されている。青が印象的な海中写真の襖が奉納された方丈や、茶室「雲了庵」、地面を深く大きく掘り下げ螺旋状の石段を降りた先に手水鉢を据えた「降り蹲踞」もみどころ。

★大型P：なし（堀川通で路上乗降） ★拝観所要時間：約35分（乗降場所から受付まで片道徒歩約1分）

ほうおんじ  
**報恩寺** 「京の冬の旅」8年ぶりの公開

～令和4年は寅年 秀吉ゆかりの「鳴虎」のある寺～

「鳴虎」の通称で知られる寺院。鎌倉時代の伝快慶作の本尊・阿弥陀三尊像や、「撞かざる鐘」と呼ばれる悲話を伝える平安時代後期の梵鐘（重文）など貴重な寺宝が残る。不思議な逸話をもつ「鳴虎図」は、明の画人・四明陶侷が毛の一本一本まで細密な筆致で描いた虎の掛軸で、【1期】の期間は「鳴虎図」原本を展示、【2期】の期間は「鳴虎図」複製のほか、通常博物館に寄託されておりお寺での公開は初となる「大黒天像」（重文）も特別展示される。

※【1期】1/8～16、【2期】1/17～3/18で展示替えあり

★大型P：なし（堀川通で路上乗降） ★拝観所要時間：約30分（乗降場所から受付まで片道徒歩約4分）

にんなじ ごてん ていえん  
**仁和寺 御殿・庭園** 「京の冬の旅」18年ぶりの公開

～「名勝」指定記念 御殿庭園が回遊式に！～

真言宗御室派の総本山で、世界文化遺産。代々皇室から住職を迎えた門跡寺院で、日本画家・原在泉や堂本印象の襖絵が残る「宸殿」「白書院」「黒書院」など「御殿」と呼ばれる建物群は、回廊で結ばれ御所に似た風情を漂わせる。今冬、七代目小川治兵衛作の「北庭」と白砂敷きの「南庭」からなる「仁和寺御所庭園」が、2021年3月に国の名勝に指定されたことを記念し、建物内からの観賞式であった庭園に下りて特別回遊ルートで拝観できる。築山に建つ茶室「飛濤亭」（重文）などもみどころ。

★大型P：仁和寺駐車場 ★拝観所要時間：約40分（駐車場から受付まで片道徒歩約5分）

ひがしほんがんじ ごえいどうもん  
**東本願寺 御影堂門** 「京の冬の旅」初公開

～「お東さん」の入口 日本一高い木造山門初公開！～

真宗大谷派の本山で、正しくは「真宗本廟」。世界最大級の木造建築・御影堂など諸堂が並ぶ境内の入口に聳える御影堂門（重文）は、明治44年の再建。高さ約27mの日本一高い木造山門で、上層には釈迦如来坐像と弥勒菩薩像、阿難尊者像が安置されている。竹内栖鳳が描く予定であった幻の天井画「飛天舞楽図」草稿（複製）も特別展示。また楼上からは東山連峰を望み、京都のメインストリート・烏丸通や市街を見下ろす眺望が楽しめる。

★大型P：なし（烏丸通で路上乗降） ★拝観所要時間：約30分（乗降場所から受付まで徒歩すぐ）

とうじ ごじゅうのとう シンボル  
**東寺 五重塔** ～京都の象徴 日本一高い五重塔～

世界文化遺産に登録された真言宗総本山。平安京造営時に創建され、のちに弘法大師空海に下賜された。江戸時代再建の五重塔（国宝）は、高さ約55mの日本一高い木造塔である。特別公開の初層内部は極彩色の文様で彩られ、大日如来に見立てた心柱を囲んで金剛界四仏が安置されている。また薬師三尊像を祀る金堂（国宝）、21体の仏像が立体曼荼羅を形成する講堂（重文）など密教美術の宝庫といわれる諸堂も拝観できる。

★大型P：東寺駐車場（※但し毎月21日の弘法市が開催されている場合は利用不可） ★拝観所要時間：約40分

だいごじ さんぼういん  
醍醐寺 三宝院 「京の冬の旅」27年ぶりの公開

～天下人の栄華を偲ぶ建築美と秘仏・弥勒菩薩像～

貞観16年(874)、理源大師聖宝が開いた真言宗醍醐派総本山で、世界文化遺産。三宝院は歴代座主が居住する「本坊」にあたる。表書院(国宝)から望む庭園(特別名勝・特別史跡)は、豊臣秀吉など天下人が代々所持した名石「藤戸石」をはじめ豪壮な石組と刈込が見事な桃山時代を代表する池泉式庭園である。今冬、快慶作の優美な弥勒菩薩坐像(重文)を安置する弥勒堂(重文)を特別公開。また「醍醐棚」で知られる奥宸殿(重文)では、秀吉愛用の「金の天目茶碗と天目台」などの寺宝も展示される。

※1月14日(金)は拝観休止

★大型P: 醍醐寺駐車場(有料、予約不要・先着) ★拝観所要時間: 三宝院 約40分、「伽藍エリア(金堂など)」をゆっくり拝観される場合は+15分程度(駐車場から受付まで片道徒歩約2分)

にしほんがんに しょいん  
僧侶がご案内する特別拝観 西本願寺 書院  
～国宝・重文の宝庫 華麗なる桃山文化の粋～

浄土真宗本願寺派の本場で、正しくは「龍谷山本願寺」。国宝・重要文化財の建造物が多数残されており、今回は法話とともに僧侶のご案内で特別に拝観できる。

書院(国宝)は、桃山時代の豪壮華麗な書院造を代表する大建築。203畳敷きの対面所「鴻の間」や「雀の間」「雁の間」、白書院の「孔雀の間」など意匠を凝らした幾つもの部屋が並び、渡辺了慶一派や円山派による美しい金碧障壁画や重厚な彫刻で飾られている。また現存最古の北能舞台(国宝)、南能舞台(重文)、「虎溪の庭」(特別名勝)などもみどころ。

※1月25日(火)～3月14日(月)の期間中設定日(設定日は別紙カレンダー参照)

★大型P: 西本願寺北駐車場(無料、予約不要・先着) ★拝観所要時間: 約60～70分(駐車場から受付まで片道徒歩約10分)

だいごじ ごじゅうのとう  
僧侶がご案内する特別拝観 醍醐寺 五重塔  
～千年の古塔 荘厳な密教空間～

度重なる戦火で醍醐寺の堂塔伽藍が失われた中、唯一焼失をまぬがれ創建当時の姿を伝える五重塔(国宝)。天曆5年(951)に建てられた京都府内最古の木造建造物で、高さは約38m、上の相輪部が全体の3分の1を占めてバランスがよく、屋根の大きさが上層ほど徐々に小さくなる安定感のある姿が美しい。特別に拝観できる初層内部には、仏像は祀らず、塔を貫く心柱の覆板に胎蔵界・金剛界の両界曼荼羅が描かれている。

❖写経つき: 鎮守社・清瀧宮拝殿にて写経の後、拝観となります

※1月29日(土)・30日(日)、2月27日(日)・28日(月)、3月12日(土)・13日(日)の6日間の公開

★大型P: 醍醐寺駐車場(有料、予約不要・先着) ★拝観所要時間: 五重塔 約30～40分、「伽藍エリア(金堂など)」をゆっくり拝観される場合は+15分程度(駐車場から受付まで片道徒歩約5分)

※定員、設定回数に限られるため、基本的には5名様までの小グループでのご予約となります。

**「第56回 京の冬の旅」僧侶がご案内する特別拝観 西本願寺 書院・境内地  
設定カレンダー**

色付きの部分が設定時間です

○所要時間:各回 約60分

○定員:各回 40名

1月		10:00	11:00	13:30	15:00
29	土	40名	40名		
30	日	40名	40名		
31	月				
2月		10:00	11:00	13:30	15:00
1	火				
2	水				
3	木				
4	金				
5	土	40名	40名		
6	日	40名	40名		
7	月				
8	火				
9	水				
10	木				
11	金祝	40名	40名	40名	40名
12	土	40名	40名		
13	日	40名	40名		
14	月				
15	火				
16	水				
17	木				
18	金				
19	土	40名	40名		
20	日	40名	40名		
21	月				
22	火				
23	水祝	40名	40名		40名
24	木	40名	40名		
25	金	40名	40名		
26	土	40名	40名		
27	日	40名	40名		
28	月	40名	40名	40名	40名
3月		10:00	11:00	13:30	15:00
1	火				
2	水				
3	木	40名	40名		
4	金				
5	土		40名		40名
6	日	40名	40名		40名
7	月				
8	火			40名	40名
9	水				
10	木				
11	金			40名	40名
12	土				40名
13	日	40名	40名		40名